

之候ハ、本部直ニ其使ニ御照会可申候様先般同省ノ通達相成  
居候処本部綜理以下内外教員及生徒之内ノ該年報及地図共要望  
之旨ニ而御交付之義願出候者有之候ニ付右願出候人名別紙ニ記  
載差出候条御交付有之様致度此段及御依頼候也

明治十一年四月廿二日 東京大学法理文三学部

開拓使出張所御中

北海道報文并地図願人姓名

綜理 加藤弘之

同補 濱尾 新

法学教授 英国人グリグスビー

理学教授 米国人パーソン 同 チャプリン

同 シューエット 独国人子ットー

今井 巖

理学部助教 和田維四郎

予備門訓導 森 春吉

同図書教員 安東徹三 中村久弘

法学部第四年生 野村鈺吉 西川鉄次郎 河上謹一

同 第三年生 秋山源蔵 磯野 計 増島六三郎

大原謙三郎

同 第二年生 菅谷正樹 加瀬昶次郎 入江鷹之助

元田 肇

同 第一年生 合川太郎 岡田源太郎

理学 第四年生 石松 定 福田良作 高松豊吉

85 開拓使刊行の北海道報文並地図類寄贈願

〔明治十一年四月二十二日〕

(朱書)  
〔寅第六十五号〕

(加藤弘之)  
綜理 (花押)

同補

記録掛

其使刊行北海道報文并地図類学校教員并生徒之内格別篤志要望  
之者エハ附与可相成段文部省へ御掛合有之候ニ付右要望之者有

伊藤新六郎 渡邊 渡 仙石 貢

三田善太郎 石黒五十二 桜井房記

高山甚太郎 磯野徳太郎 小林孝一

石藤豊太 宇野忠寛 小藤文次郎

西 松次郎 山下傳吉 河野鯉雄

川上新太郎 二見鏡三郎 野尻武助

白井 瀟 橘 協 腰塚 英

坂田貞一 大森俊次 岡田一三

中沢岩太 池田 穆 和田雄治

肥田密三 渡邊与三 喜多村弥太郎

織田頭次郎 松岡政久 松浦佐用彦

佐々木忠次郎

同 第二年生 渡邊 讓 甲賀宣正 石川 巖

野村竜太郎 白石直治 中村 行

岡田秀雄 吉田彦二郎 今井省三

松本 収 坪田秀清 守屋物四郎

富士谷孝雄 城多種久 巨智部忠承

小柴保人 岡 胤信 倉田吉嗣

吉田朋吉 日下部弁二郎 青木元五郎

福田東吾 土田鉄雄 石田二男雄

大八木喬朶 高橋鉉太郎 加藤常七郎

岩川直太郎 久田孝太郎 前田元敏

原 竜太 足立震太郎

文学部第二年生 国府寺新治 笠原 格 久須 臣

同 第一年生 坪井九馬三

予備門第一級 井原助義 鈴木矢之助 磯松景義

田中館愛橋 今田 修 市島謙吉

山縣景次 真寄孝八 橘 桶三郎

笠原方正 金井作四郎 中原貞三郎

山口勝吉 本多寿雄 三崎龜之助

岡山兼吉 砂川雄峻 沢部春水

山田喜之輔(助) 渡邊安積 有賀長雄

徳田豊橋 長谷川方文 田中正平

中島謙蔵 大木良直 吉川俊吉

岡倉庸次郎 香坂駒太郎 高田早苗

関 直彦 橘 槐太郎 原田慎治

石川千代松 丹 乙馬 横田七郎

堀 達 野口義茂 杉谷佐五郎

予備門第二級 洪谷慥爾 野口義茂 杉谷佐五郎

森 可次 藤川陟記 横地石太郎

吉岡誓太郎 坂内冬蔵 河野於菟磨

中島鋭治 小林松二郎 佐久間 育

北代 勝 松田武一郎 小林秀太郎

樋山資之 磯部以呂久 榎野四男吉

本間杖太郎 金井啓一 北島重孝

林 磯吉 鶴原定吉 和田武男

片山清太郎 神戸民之助 杉江輔人

石川直記 木村竹一郎 小川安武

中原貞七 原川権平 岡倉八十八

川名英次郎 西岡恒之進 奥田義人

横井左久 川又 苗 大石保吉

加藤佐太郎 川田徳次郎 斯波淳六郎

梅若誠太郎 穂積八束 酒井佐保

伊藤悌治 萩原朝之輔 大谷津直麿

佐藤通雄 市野金一郎 新岡英彦

森田傳吉 神谷泰恕 近藤仙太郎

岩沢益三郎 鶴見次昌 廣居清太郎

小田亀一郎 高橋豊太 堤 禮三郎

富川尚三 山崎鉉次郎 久水忠太郎

平沼淑郎 箕作元八郎 安藤 格

山田久太郎 荘 清次郎 上坂重雄

沢崎頼之助 高橋 知 斯波他家造

箕田 亨 青木吉教 上村祥三

落合裕二 川地每吉 田中勘三郎

古見安六 伊藤六三郎 渡部亀一郎

池浦 廉 寺崎知吉 三浦文二郎

畑 精太郎 酒井孝徳 河原幸吉

市橋藤太 溝部松二郎 福家梅太郎

宮井虎三郎

予備門第三級

予備門第四級

通計貳百貳拾七人

『合要類纂』卷九十一、明治十三年二月、  
諸向往復之部、明治十一年ノ分甲、㊟